41 01 08 04 01 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月20日（水）

事務事業	中心市街地活性化推進事業	担当課	都市計画課	担当係	市街地活性化係	管理番号	4106
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別名 大項目	200005 快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤）	根拠法令個別計画等	中心市街地活性化基本計画 中心市街地活性化に関する法律				
中項目	200001 都市整備の行き届いたまちづくり						
小項目	200001 良好な市街地・住環境形成の推進						

事業概要	中心市街地活性化に向けた取り組みへの支援や連携など、中心市街地活性化に関する総合調整を行うものである。平成２９年度は、まちづくり市民会議「深谷こよみ会」を立ち上げ、同会議の区画整理地内（仮称）にぎわい通りデザインプロジェクトにオブザーバーとして参加した。また、まちなか活性化事業者（ドッグラン広場）が、持続的に賑わいのある活動ができるよう調整を図った。中心市街地の情報発信のため「まちなか新聞」を発行した。
目的 ※何のために	中心市街地の整備改善と商業等の活性化の一体的な推進を図り、各種施策を連携させながら、中心市街地を「にぎわいのあるまち」として再構築する。
対象 ※誰・何を対象に	本事業の対象は中心市街地にかかわる市民等。 ※中心市街地の範囲は、深谷駅、中山道、市役所、市民文化会館などを含む約１００ｈａ
手段 ※どのように	市民等から発案された活性化事業に必要な支援（人的、物的）を行う。
成果 ※何を求めるか	市民等が主体となった取り組みが活発になり、中心市街地ににぎわいが出てくる。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　■ 市民ボランティア　■ ＮＰＯ民間団体　■ その他（ 人的・物的支援 ）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
	一般会計	08	土木費	04	都市計画費	01	都市計画総務費	中心市街地活性化推進事業	29,526
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0

本事業の主な業務	
・ 中心市街地の活性化に関する総合調整	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			活性化事業の実施支援 活性化情報の発信	活性化事業の実施支援 活性化情報の発信	活性化事業の実施支援 活性化情報の発信	活性化事業の実施支援 活性化情報の発信	活性化事業の実施支援 活性化情報の発信	
事業費	予算（現額）		463,000	305,000	159,000	189,000	190,000	
	決算額		37,090	120,743	29,526	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	37,090	120,743	29,526	189,000	190,000	
人件費	従事職員数（人）		1.00	1.03	1.03	1.21	1.21	
	人件費相当試算※１		7,779,000	8,015,460	8,096,830	9,859,080	9,859,080	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			7,816,090	8,136,203	8,126,356	10,048,080	10,049,080	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	市からの情報発信（まちなか新聞）	目標値	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	□
			実績値		2.00	2.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年２回以上、情報発信することを目標値としている。							
		都市計画課発信の実績値									
■	活動指標２	活性化を進める市民団体への支援	目標値	回	5.00	5.00	6.00	7.00	8.00	9.00	□
			実績値		10.00	6.00	9.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年５回以上、活性化を進める市民団体に支援することを目標値としている。							
		市民団体への支援回数									
□	成果指標１	市民が主体となって取り組んだ活性化事業件数	目標値	件							■
			実績値		2.00	2.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		活性化事業は住民が主体となった取組みのため、目標の設定は困難。							
		当該事業により支援した事業									
■	成果指標２	活性化事業に参加した人数	目標値	人							■
			実績値		67.00	56.00	64.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		活性化事業は住民が主体となった取組みのため、目標の設定は困難。							
		活性化事業の参加人数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	C	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 年度末発行予定していた「まちなか新聞」について、掲載を予定していたイベントがコロナウィルス感染拡大防止のため中止となったため発行を見送った。市民団体の支援については、会主催の会議へオブザーバーとして出席し、必要な助言等を行った。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 市民団体が主体で考えた事業計画に基づき、まちづくりの研究や他団体との交流、活動、支援により、新たな賑わい創出に繋げることができた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）	-	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	都市計画課　大須賀　浩行

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	引き続き、市民会議「深谷こよみ会」及びまちなか活性化事業者（ドッグラン広場）のオブザーバーとして支援や連携を行い、イベントなどの情報発信を行う。 中心市街地が活性化させるためにも全国的な事例の調査・研究を行う。
達成状況 及び その効果	まちづくり活性化事業のリニューアル対して、「まちなか新聞」を活用することで広く周知した。 市民団体への支援として、まちづくり市民会議が主催する会議へオブザーバーとして参加し、まちづくりの調査や研究に対し助言を行う。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	中心市街地活性化推進事業	担当課	都市計画課	担当係	市街地活性化係	管理番号	4106

□ ① 現状のまま継続
■ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
■ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

市民主体の取り組みについて目に見えるような成果を出すのは難しいが、市民参加型のまちづくりとして継続し、中心市街地活性化に繋げる必要がある。
また、市民団体を支援しながら、まちづくり強い意識を持った市民を育成することが必要である。

評価者	都市計画課長　吉田　稔

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

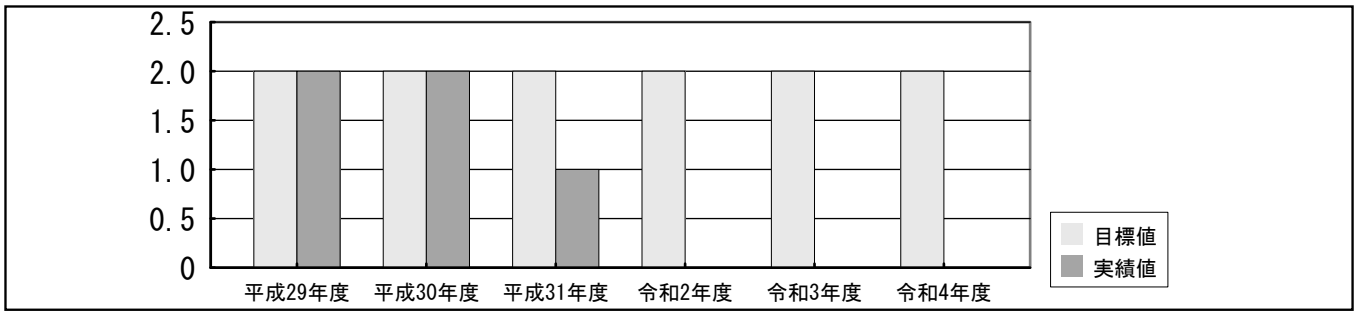
改善・改革案	中心市街地へ賑わいを創出するためにはどのようなことが必要なのか、市民や市民団体等から情報収集を行い、取り組みを検討していく。 中心市街地において、市民主体の活動を行う団体等を支援していく。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

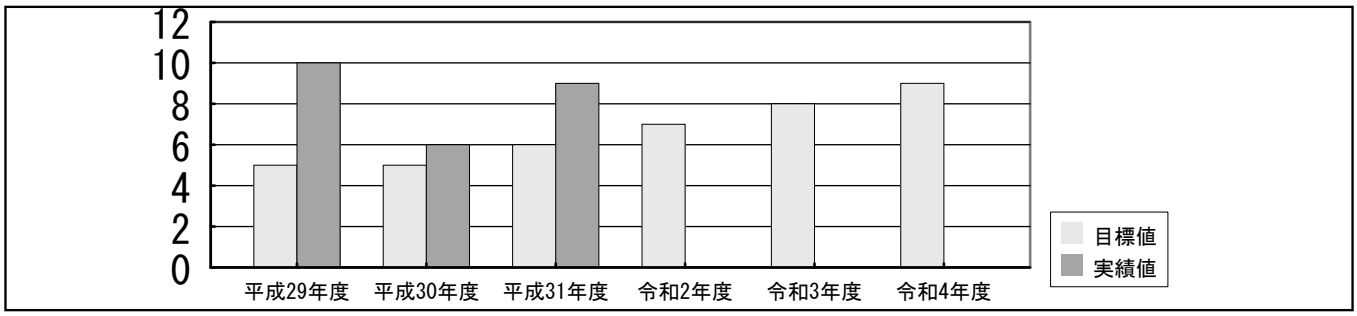
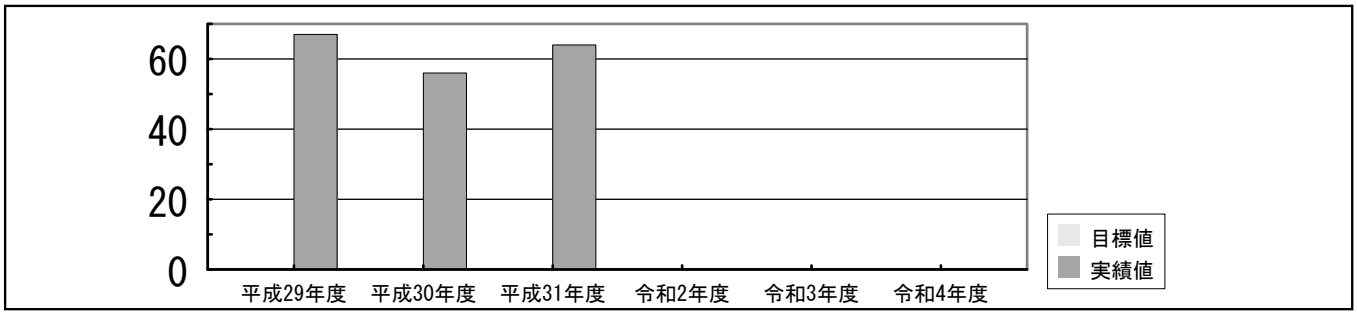
今後の課題	市民会議「深谷こよみ会」及びまちなか活性化事業者（ドッグラン広場）へオブザーバーとして助言や支援を行い、中心市街地活性化へ繋げる。 関係機関との連携した取り組みを推進していく必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	市からの情報発信（まちなか新聞）



区分	活動指標２	指標名	活性化を進める市民団体への支援



区分	成果指標２	指標名	活性化事業に参加した人数